

作成日:2009年6月1日

改訂日:2017年11月13日

安全データシート

【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名	カチオンパワー
会社名	二瀬窯業株式会社
住所	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署	技術部技術課
電話番号	0948-22-0447

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類	引火性液体	: 区分外
	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2A
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分外
	生殖毒性	: 区分2
	水生環境有害性(急性)	: 区分3
	水生環境有害性(慢性)	: 区分3
	※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。	

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意事項

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

緊急時を除き、環境への放出を避けること。

保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名または一般名

スチレン・ブタジエン共重合ラテックス

成分及び含有量

成分	含有量 %	CAS No	化審法
スチレン・ブタジエン共重合体	27.6～29.6	非公開	既存
ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	1.4	9016-45-9	既存
アンモニア	0.1～0.2	7664-41-7	既存
水	69.0～71.0	7732-18-5	—

【4. 応急措置】

目に入った場合

清浄な水で15分間以上洗浄し、眼科医の診断を受ける

皮膚に付着した場合

付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。炎症が出た場合は直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

【5. 火災時の措置】

特有の危険有害性

このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

消火方法

火元の燃焼源を断ち消火剤を使用して消化する。

消火剤

水、二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂、その他

使ってはならない消火剤

特になし

【6. 漏出時の措置】

環境に対する注意事項

本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

物質を固化して掻き取る。

本製品は水に浮かぶため火災の危険がある。可能ならば、浮いている製品を封じ込めるよう努める。

除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

蒸気は水噴霧で制御できる。液体が蒸発して更に多くの水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

掬い取るか、適切な吸収材によって水表面から除去する。分散剤を使用してはならない。

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

滑らかな滑りやすい表面を床上に形成するので、完全に取除くこと。

二次災害防止策

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い

技術的対策

【8. ばく露防止及び保護措置】に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

接触回避

【10. 安定性及び反応性】を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。【10 安定性及び反応性】を参照。

【8. 暴露防止及び保護措置】

暴露濃度基準

該当なし

設備対策

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

特別な換気要求事項はない。

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい

保護具

保護眼鏡: 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。

保護手袋: 状況に応じ、PE、ゴム製の非浸透性の手袋を着用する。

保護衣: 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

外観	
物理的状態, 形状	液体
色	乳白色
臭い	ほとんどなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	6.0~8.0
融点/凝固点	約 0°C
沸点、初留点および沸騰範囲	約 100°C
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
比重(密度)	約 1.0
溶解性	水に任意の割合に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数	知見なし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

【10. 安定性及び反応性】

化学的安全性	通常の取扱いにおいては安定。 電解質や凝集剤とは凝集を起こす。
危険有害反応可能性	水禁忌物質との接触による反応
避けるべき条件	水禁忌物質との接触
混触危険物質	水禁忌物質
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

急性毒性 吸入	アンモニア ラット LD50 7679 mg 蒸気を吸入すると、頭痛をおこす場合がある。
皮膚腐食性及び皮膚刺激	皮膚に付着したままにすると、炎症をおこす場合がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	眼に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

【12. 環境影響情報】

生体毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他	河川・湖沼に流入すると広範囲にわたり白濁汚染をすることとなる。

【13. 廃棄上の注意】

<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>	<p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

【14. 輸送上の注意】

<p>国際規則</p>	<p>該当しない</p>
<p>国内規制</p>	<p>該当しない</p>
<p>特別の安全対策</p>	<p>容器に破損、漏れがないことを確かめる。</p> <p>転倒、落下、破損のないように積み込む。</p> <p>荷崩れ防止を確実にを行う。</p>

【15. 適用法令】

<p>労働安全衛生法</p>	<p>表示対象物 該当なし</p> <p>通知対象物 アンモニア（政令番号 39）</p>
<p>化学物質排出把握管理促進法</p>	<p>第1種指定化学物質 ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル</p>

【16. その他の情報】

本データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の実用性を対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。